

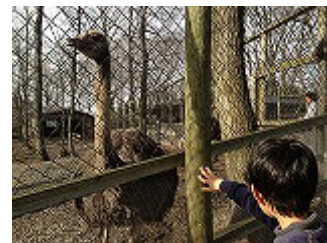
# 進め！ゆきんこ冒険隊！！

2013年4月5日（金）～7日（日）

I N 尼崎市立美方高原自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	牧場見学	名札作り、作戦会議
2日目	オリエンテーリング	振り返り・グループタイム	キャンドルサービス
3日目	清掃・雪遊び	施設を出発・解散	

一日目： 春キャンプ最後のイベントがスタートしました。今回の参加者は少ないですが、一人一人やる気満々で、移動中も騒いで休んで、また騒いで…と、終始楽しい雰囲気が進みました。道中でお昼になったので、昼食を取りました。そして、再び出発し、まずは但馬牧場に向かいました。あまり、ここで過ごす時間はありませんでしたが、その中でいっぱい動物と触れ合っていました。そして牧場を後にし、施設へと向かいました。到着の頃にはもう夕食前で、みんなお腹ペコペコでした。施設の方からオリエンテーションをしていただき、その後夕食をいただきました。食堂では、自分達で役割分担をしっかりと行って、手際良く配膳を進める事ができました。いただいた食事美味しくて、みんな笑顔でお腹いっぱい食べていました。夕食後は、名札を作りました。今回はコースターを材料に用いました。ポスカを使った際に、余計に出てしまった方もおられましたが、なんとか自分でリカバリーをかけて作られていました。みんな今までと違った名札を作ったので、嬉しそうでした。そして、名札作りの後、二日目の登山の作戦会議をしました。最終目的は『山頂でラーメンを作って食べる』です。そのために、施設に向かう途中のスーパーで材料の買い物を済ませ、運ぶ器材とそれを運ぶひとを決めました。みんな予想以上の話し合いをされて、明日への意気込みが頼もしいです。その後は入浴して、就寝に入りました。明日は、とちのき村の大自然を大いに感じる一日です。どんな冒険が待っているのでしょうか？



二日目： 朝から天気は昨日より一変、曇りでした。予定していた登山を変更し、施設周辺を冒険することにしました。基本のスタンスは変わらず、自分達で考え、用意した食材や器材は運びながら活動を行いました。出発した矢先、予報通り雨が降ってきました。それでもみんなのテンションは高く、意気揚々と出発しました。雪のある場所に到着すると、無我夢中で楽しんでおられました。雪がないと知らされていたので、とても嬉しかったです。山間部に入ると、雪も沢山あり、自然があり、興奮してビショビショになりながらも楽しんでいました。昼食になると、炊事棟に集まり、食材を使って調理を行いました。メニューはラーメンです。1日目に購入した食材を自分達で考えて料理しました。役割を分担し、手際良く行って行きました。出来たラーメンをいただきましたが、寒い時に食べたのもあり、本当に美味しく、体の中から暖かくなりました。帰ってきて少し休憩した後、今日の冒険の振り返りを行いました。冒険で思った事や、感じた事を文字で表し、その言葉を線で繋いでいきました。初めは戸惑いがありましたが、後半になると容量を理解したのでしょうか、次々と書き込まれていき、みるみるうちに用紙が埋まっていきました。伴って、発言も多くなり、どのグループも一日の振り返りが出来ていました。夕食後は、楽しみにしていたキャンドルファイアを行いました。少人数ですが、それを思わせない程大いに盛り上がりしていました。まさかのキャンドルでハンカチ落としを行ったり、少ないからこそ出来る内容を沢山盛り込みました。キャンドルも終わり、入浴後みんなの目がとても眠そうで、今日一日どれぐらい楽しんで、はしゃいでいたのか物語っていました。



三日目： 朝食を食べ、清掃し、荷物を移動と朝から大忙しでしたが、さすがに3日目となると、メンバーも要領が分かり、自分達で考えて行動されていました。メンバーから「次は？」という言葉が成長を表していました。片付けが終わると、残った時間をグループで過ごしました。「外に行きたい！！」と意見がありましたが、あいにくの猛吹雪やみぞれや雨で大変な状況です。しかし、そんなことはおまかいなしに外に行き、雪のある場所で遊んでいました。身も心もすっかり冒険者です。帰ってきた時に「さむい〜」とおっしゃっていましたが、何故か笑顔だったのが、とても印象に残っています。最後の食事を食堂で済ませ、荷物を車に積み施設を後にしました。車内も勢いは止まらず、最後の最後までグループを堪能されていました。



## <キャンプ総括>

春キャンプ最小人数で行いました。しかし、彼らのテンションはどのキャンプにも負け劣らない力強さを感じていました。その理由はキャンプに身を任せるのではなく、自発性を出していたからです。「自分達で楽しいキャンプをつくる」、この想いがメンバーからひしひしと伝わっていました。だからどんな悪天候でも、少人数でも、全力で臨んでいたと思います。振り返りを行なった時もみんなが良いものを作りたいという願いが重なり、非常に有効で活用的なプログラムになりました。キャンプでは当たり前のように言われている『想いを一つにさせる』。達成させるためには難しい道のりですが、この想いはブレず求め続けたいと思います。  
( 竹中 哲郎 )